



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年10月22日

上場取引所 東名

上場会社名 株式会社メルコホールディングス  
コード番号 6676 URL <http://melco-hd.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 牧 誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 松尾 民男

TEL 052-251-6891

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日

平成24年11月26日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	49,058	18.7	891	77.7	1,330	68.7	880	65.7
24年3月期第2四半期	60,344	2.4	4,002	15.8	4,248	11.9	2,566	12.0

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 883百万円 ( 65.1%) 24年3月期第2四半期 2,532百万円 ( 12.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第2四半期	39.62	
24年3月期第2四半期	115.53	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年3月期第2四半期	66,651	41,462	62.2	1,866.50
24年3月期	70,328	41,023	58.3	1,846.72

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 41,462百万円 24年3月期 41,023百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期		20.00		20.00	40.00
25年3月期		20.00			
25年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	103,600	11.7	3,200	51.2	4,000	43.9	2,400	46.0	108.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社バッファローコクヨサプライ  
(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 有  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	22,237,873 株	24年3月期	22,237,873 株
期末自己株式数	25年3月期2Q	23,756 株	24年3月期	23,677 株
期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	22,214,186 株	24年3月期2Q	22,214,400 株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) セグメント情報等 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に緩やかな回復傾向にあるものの、欧州債務危機に伴う海外経済の減速、長期化する円高による国内景気の減速懸念等、依然として不透明な状況が続きました。

当社グループに係るデジタル家電業界は、スマートフォン・タブレット端末の普及により、その周辺機器市場は拡大したものの、地デジ化移行特需の反動からテレビ関連市場は著しく縮小しました。また、パソコン周辺機器市場も、消費マインドの低迷により、厳しい状況が続きました。

当社グループは、国内市場でのシェア確保に尽力するとともに、成長著しいスマートフォン関連市場においてiPhone<sup>※1</sup>関連商品をいち早く市場に投入する等、成長市場での拡販に努めました。しかし、テレビ関連市場の落ち込みに伴うハードディスク製品販売の減速、価格競争激化によるネットワーク製品の売上減少により、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前年同期を大きく下回りました。

これらにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は490億58百万円（前年比18.7%減）、営業利益8億91百万円（同77.7%減）、経常利益13億30百万円（同68.7%減）、四半期純利益8億80百万円（同65.7%減）となりました。

主要な製品別の状況は以下のとおりです。

メモリ製品では、パソコン用メモリモジュールの追加購入需要の減少傾向が続きました。その結果、販売台数は前年同期比で21.0%減少し、売上高は前年同期比20.2%減の20億62百万円となりました。

フラッシュメモリ製品では、SD等メモ리카ード、USB3.0対応USBフラッシュの拡販に努めました。その結果、販売台数は前年同期比で19.5%増加しましたが、販売価格の下落により売上高は前年同期比1.0%減の37億98百万円となりました。

ストレージ製品では、スマートフォン・タブレット端末でも使用できるWi-Fi対応バッテリー搭載ハードディスクを発売する等、市場拡大に努めました。しかし、テレビの販売台数落ち込みから、録画用外付ハードディスクの需要も減少しました。その結果、販売台数は前年同期比で21.0%減少し、売上高は前年同期比10.9%減の178億51百万円となりました。

NAS（ネットワークハードディスク）製品では、法人向け高性能NASを発売し、拡大するストレージ需要に対するソリューション提案を行いました。しかし、個人向け商品の競争激化から販売台数が減少した結果、売上高は前年同期比で6.9%減の59億53百万円となりました。

ネットワーク製品では、次世代無線LAN規格「IEEE802.11ac」対応製品を発売したものの、従来製品の価格下落を補うには至りませんでした。その結果、販売台数は前年同期比で3.1%減少し、売上高は前年同期比20.8%減の105億6百万円となりました。

デジタルホーム製品では、アナログテレビ用地上デジタルチューナー、レコーダーの需要が大幅に減少しました。その結果、販売台数は前年同期比88.4%減少し、売上高は前年同期比86.7%減の6億92百万円となりました。

サプライ・アクセサリ製品では、絶対にツメが折れない<sup>※2</sup>LANケーブル等ユーザーニーズを反映した高付加価値製品の拡充に努めました。また、スマートフォン・タブレット端末向け製品は伸張しましたが、パソコン及びテレビ向けの製品が減少した結果、販売台数は前年同期比1.0%減少し、売上高は前年同期比で3.7%減の51億99百万円となりました。

※1 iPhoneはApple Inc.の商標です。

※2 当社検証で500回の屈曲検査に合格。

[四半期製品分類別連結売上高]

	平成24年3月期 (第2四半期累計期間)		平成25年3月期 (第2四半期累計期間)		前年同期比増減 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
メモリ	2,584	4.3	2,062	4.2	△20.2
フラッシュメモリ	3,838	6.4	3,798	7.8	△1.0
ストレージ	20,034	33.2	17,851	36.4	△10.9
NAS	6,397	10.6	5,953	12.1	△6.9
ネットワーク	13,259	22.0	10,506	21.4	△20.8
デジタルホーム	5,198	8.6	692	1.4	△86.7
サプライ・アクセサリ	5,399	9.0	5,199	10.6	△3.7
DOS/Vパーツ	2,232	3.7	1,913	3.9	△14.3
サービス	1,037	1.7	849	1.7	△18.1
その他	362	0.5	235	0.5	△35.1
合計	60,344	100.0	49,058	100.0	△18.7

海外事業については、欧州の販売が債務危機による景気減速の影響から減少したものの、アジア・オセアニア及び北米・中南米における販路開拓・拡販に注力した結果、売上高は前年同期比で12.8%増加しました。中国量販店でのバッファローコーナーの展開、高付加価値製品の発売等、ブランド力向上に取り組み、当社グループの最重要課題である海外展開戦略の強化に努めました。

[海外売上高]

	平成24年3月期 (第2四半期累計期間)		平成25年3月期 (第2四半期累計期間)		前年同期比増減 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
アジア・オセアニア	3,526	41.5	4,813	50.3	36.5
北米・中南米	1,448	17.1	2,023	21.1	39.7
欧州	3,516	41.4	2,738	28.6	△22.1
合計	8,491	100.0	9,574	100.0	12.8

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は666億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億76百万円減少しました。流動資産は609億87百万円となり39億80百万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少54億13百万円、商品及び製品の増加19億61百万円、原材料及び貯蔵品の増加6億73百万円によるものです。固定資産は56億64百万円となり3億4百万円増加しました。

負債合計は251億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億15百万円減少しました。流動負債は224億12百万円となり、39億89百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少21億80百万円、その他流動負債(預かり源泉所得税他)の減少14億85百万円によるものです。固定負債は27億76百万円となり、1億25百万円減少しました。

純資産合計は414億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億39百万円増加しました。これは主に、四半期純利益8億80百万円の獲得と、配当金の支払4億44百万円によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は87億3百万円となりました。キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は13億81百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益13億14百万円、減価償却費6億44百万円、売上債権の減少による資金増加57億34百万円、たな卸資産の増加による資金減少26億24百万円、仕入債務の減少による資金減少24億84百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は7億41百万円となりました。これは主に、有形・無形固定資産の取得による支出4億87百万円、有価証券及び投資有価証券の取得による支出217億87百万円、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入210億45百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は4億44百万円となりました。これは主に、配当金の支払によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成24年5月16日に公表しました平成25年3月期の連結業績予想を修正しました。詳しくは、本日(平成24年10月22日)公表した、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結子会社でありました株式会社バッファローコクヨサプライは、平成24年4月1日に連結子会社であります株式会社バッファローに吸収合併されました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴う、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,952	8,703
受取手形及び売掛金	24,896	19,483
有価証券	20,000	20,102
商品及び製品	4,693	6,654
原材料及び貯蔵品	3,969	4,643
繰延税金資産	540	331
その他	1,940	1,068
貸倒引当金	△25	△1
流動資産合計	64,967	60,987
固定資産		
有形固定資産	872	869
無形固定資産	1,492	1,252
投資その他の資産		
その他	3,012	3,559
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	2,995	3,542
固定資産合計	5,360	5,664
資産合計	70,328	66,651
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,386	17,206
未払法人税等	352	233
未払金	2,732	2,556
役員賞与引当金	25	2
製品保証引当金	136	132
その他	3,767	2,281
流動負債合計	26,402	22,412
固定負債		
繰延税金負債	1,186	1,140
退職給付引当金	998	973
役員退職慰労引当金	520	467
リサイクル費用引当金	157	156
その他	39	39
固定負債合計	2,902	2,776
負債合計	29,304	25,189

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	774	774
利益剰余金	39,548	39,984
自己株式	△60	△60
株主資本合計	41,262	41,698
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112	78
繰延ヘッジ損益	2	1
為替換算調整勘定	△354	△316
その他の包括利益累計額合計	△239	△235
純資産合計	41,023	41,462
負債純資産合計	70,328	66,651

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	60,344	49,058
売上原価	47,590	40,161
売上総利益	12,753	8,896
販売費及び一般管理費	8,751	8,004
営業利益	4,002	891
営業外収益		
受取利息	30	49
受取配当金	116	263
有価証券売却益	32	36
為替差益	77	25
貸倒引当金戻入額	10	21
訴訟損失引当金戻入額	40	—
持分法による投資利益	—	11
その他	26	59
営業外収益合計	333	468
営業外費用		
支払利息	0	—
減価償却費	4	20
デリバティブ評価損	62	3
持分法による投資損失	0	—
その他	19	6
営業外費用合計	87	29
経常利益	4,248	1,330
特別利益		
固定資産売却益	2	—
事業再構築引当金戻入額	7	—
特別利益合計	9	—
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	7	13
投資有価証券評価損	—	2
特別損失合計	7	16
税金等調整前四半期純利益	4,250	1,314
法人税、住民税及び事業税	1,489	237
法人税等調整額	198	196
法人税等合計	1,688	433
少数株主損益調整前四半期純利益	2,562	880
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△4	—
四半期純利益	2,566	880

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,562	880
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25	△33
繰延ヘッジ損益	△5	△0
為替換算調整勘定	1	37
その他の包括利益合計	△29	3
四半期包括利益	2,532	883
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,536	883
少数株主に係る四半期包括利益	△3	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,250	1,314
減価償却費	611	644
のれん償却額	21	—
事業再構築引当金の増減額 (△は減少)	△293	—
受取利息及び受取配当金	△147	△313
支払利息	0	—
売上債権の増減額 (△は増加)	4,435	5,734
たな卸資産の増減額 (△は増加)	71	△2,624
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,043	△2,484
未払金の増減額 (△は減少)	△20	△157
その他	△389	△207
小計	5,496	1,906
利息及び配当金の受取額	182	429
利息の支払額	△0	—
法人税等の支払額	△3,547	△1,755
法人税等の還付額	83	800
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,215	1,381
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△4,900	—
定期預金の払戻による収入	10,780	500
有形固定資産の取得による支出	△236	△315
有形固定資産の売却による収入	101	—
無形固定資産の取得による支出	△83	△171
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△17,201	△21,787
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	9,245	21,045
その他	49	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,243	△741
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△888	△444
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△889	△444
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	56
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△898	251
現金及び現金同等物の期首残高	11,415	8,452
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,516	8,703

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	欧州	米国	
売上高					
外部顧客への売上高	54,705	693	3,515	1,429	60,344
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,804	2,479	—	10	7,293
計	59,509	3,172	3,515	1,440	67,638
セグメント利益又は損失(△)	4,138	3	△37	△156	3,948

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,948
セグメント間取引消去	54
四半期連結損益計算書の営業利益	4,002

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	欧州	米国	
売上高					
外部顧客への売上高	43,291	1,126	2,738	1,901	49,058
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,326	2,201	0	71	7,600
計	48,618	3,328	2,738	1,973	56,658
セグメント利益又は損失(△)	916	△12	△153	9	759

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	759
セグメント間取引消去	131
四半期連結損益計算書の営業利益	891